

教科目標：言語活動をいかした基礎基本の定着

学期	月	単元名・内容	到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	1「広がる学びへ」 ◆見えないだけ	さまざまな文章に触れたり情報を集めたりすることで、言葉の豊かさに気づく	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。 現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。 自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている	詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	5	◆アイスプラネット				
	6	◆枕草子 ◆文法への扉1 単語をどう分ける？ 漢字に親しもう1				
	7	2「多様な視点から」 ◆クマゼミ増加の原因を探る ◆漢字に親しもう2 ◆漢字1 熟語の構成	構成をとらえ、説明の工夫を考える	話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	9	3「言葉と向き合う」 ◆弁論原稿作りと発表	身近な生活の中からテーマに挙げ、相手にわかりやすいように構成を考えて文章を書く	原稿用紙の使い方を意識して書くことができる	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わるように工夫し手分掌を書き発表している。 複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。	言葉がもつ価値を認識して、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする
10	◆短歌に親しむ ◆言葉1 類義語・対義語・多義語					
後期	11	4「人間のきずな」 ◆ヒューマノイド ◆字のない葉書 ◆言葉2 敬語 ◆漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 ◆漢字に親しもう3	さまざまな関係をとらえ、考えを深める	表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の作品を読んでいる。	登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
		5「論理を捉えて」 ◆モアイは語る―地球の未来	根拠を吟味し、説得力を高める	筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している	文章の構成や論理の展開について考えることができる	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする
	12	6「いにしへの心を訪ねる」 ◆源氏と平家 ◆扇的の―「平家物語」から ◆仁和寺にある法師―「徒然草」 ◆漢詩の風景	昔の人の物の見方や考え方に触れ、古典に親しむ	漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。
	1	7「価値を語る」 ◆君は「最後の晩餐」を知っているか ◆漢字に親しもう4 ◆文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ	自分にとっての価値を見極め、伝え合う	筆者が、どのような例示（具体）を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい。」（抽象）と述べているのかを理解している。 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。	二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする
	2					

3	8「表現を見つめる」 ◆走れメロス ◆漢字に親しもう6 ◆文法への扉3 一字違いで大違い ◆言葉3 話し言葉と書き言葉	多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を含める	作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。 話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている	「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする
---	---	----------------------------	---	--	---

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	近世の日本と世界 ～天下統一への歩み～	全国統一する政権の誕生にむけて、どのような動きがあったのだろうか。	織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。	統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世社会から近世社会への変化の様子や、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。	信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつけられていったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	5	近世の日本と世界 ～幕藩体制の確立と鎖国～ ～経済の成長と幕政の改革～	○江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 ○江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについてとらえ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ○貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりや、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、諸資料から歴史に	統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。 産業の発達と文化の担い手の変化や、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を	江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	5	日本の諸地域 ～九州地方～	九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、さまざまな情報を調べ、まとめている。	九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。
	6	日本の諸地域 ～中国・四国地方～	中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの広がり、関連するほかの事象を読み取る技能を身に付け、近畿地方の地域的特色を理解している。	中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究しようとしている。
	6	日本の諸地域 ～近畿地方～	近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は、人口の増加や産業の発展のなかで、どのように取り組まれてきたのだろうか。	地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および、関連するほかの事象を読み取る技能を身に付け、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。	近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみたら人々の生活や産業の特色を、主体的に追究しようとしている。
	7 8 9	日本の近代化と国際社会 ～明治維新と立憲国家への歩み～	○条約改正の歩みや日清・日露戦争についてとらえ、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 ○日清・日露戦争を通じて、日本をとりまく国際関係が変化したことについて考える。	富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。	明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
後期	10	日本の諸地域 ～中部地方～	中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。	さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。	産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に追究しようとしている。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後 期	11	日本の諸地域 ～関東地方～	関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。	関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に追究している。
	12	日本の諸地域 ～東北地方～	東北地方における人々の生活や文化に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。	地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。	東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりとはどのような関係にあるのか、多面的・多角的に考察している。	東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究している。
	1	日本の諸地域 ～北海道地方～	北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。	冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。	北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心を持ち、主体的に追究しようとしている。
	2 3	日本の近代化と国際社会 ～近代の産業と文化の発展～	○日本でも産業革命が進み、近代産業が発展したこと、それによる社会の変化について理解する。 ○学問・教育・科学・芸術の発展を背景に、近代文化が形成されたことを理解する。	日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。

時期はおおよそ目安となります。
単元ごとに前後する可能性があります。

教科目標:数学的活動を通して、自ら考え課題解決していく力の育成

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	1章 式の計算 ① 単項式と多項式 ② 多項式の計算 ③ 単項式の乗法, 除法 ④ 式の値	具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて, 多項式の加法と減法および単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現したり, 文字を使った式を具体的な場面で用いたりすることができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて, 多項・多項式の加法と減法および単項式の乗法と除法の計算をし, 具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり, 式の意味を読みとったりすることができる。さらに, 文字を使った式で数量および数量の関係を捉え説明できることを理解したり, 目的に応じて簡単な式を変形したりすることができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて, 多項式の加法と減法および単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現したり, 文字を使った式を具体的な場面で利用したりすることができる。	・文字を使った式のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたりしている。
		⑤ 式の活用 ⑥ 等式の変形	文字を使った式のよさに気づいて粘り強く考え, 文字を使った式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。			
	5	2章 連立方程式 ① 連立方程式とその解 ② 連立方程式の解き方	1元1次方程式と関連づけて, 連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。連立2元1次方程式を具体的な場面で使うことができる。	・2元1次方程式とその解の意味, 連立2元1次方程式の必要性と意味およびその解の意味を理解し, 連立2元1次方程式を解くことができる。	・1元1次方程式と関連づけて, 連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現したり, 連立2元1次方程式を具体的な場面で利用したりすることができる。	・連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたりしている。
		③ いろいろな連立方程式 ④ 連立方程式の利用				
	7	3章 1次関数 ① 1次関数 ② 1次関数の値の変化	1次関数としてとらえられる2つの数量について, 変化や対応の特徴を考察し, 表現することができる。		・1次関数として捉えられる2つの数量について, 変化や対応の特徴を見だし, 表, 式, グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。さらに, 1次関数を使って具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1次関数のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたりしている。
		③ 1次関数のグラフ ④ 1次関数の式の求め方 ⑤ 2元1次方程式のグラフ ⑥ 連立方程式とグラフ ⑦ 1次関数の利用	1次関数を使って具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。 1次関数のよさを実感して粘り強く考え, 1次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	・1次関数について理解し, 事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知ったり, 2元1次方程式を関数を表す式とみたりすることができる。		
	10	4章 平行と合同 ① 直線と角 ② 多角形の内角と外角	基本的な平面図形の性質を見だし, 平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。	・平行線や角の性質や, 平面図形の合同の意味, 三角形の合同条件について理解している。さらに, 多角形の角についての性質を見いだせることを知り, 証明の必要性と意味およびその方法について理解している。	・基本的な平面図形の性質を見だし, 平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。	・平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたりしている。
		③ 合同な図形 ④ 三角形の合同条件 ⑤ 証明のしくみとその進め方 ⑥ 作図と証明	平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり, 平面図形の性質を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。			
	後期	12	5章 三角形と四角形 ① 二等辺三角形とその性質 ② 二等辺三角形になるための条件 ③ 正三角形 ④ 直角三角形の合同条件	平面図形の合同の意味および三角形の合同条件について理解し, 証明の必要性と意味およびその方法について理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり, 証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。	・証明のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたりしている。
			⑤ 平行四辺形の性質 ⑥ 平行四辺形になるための条件 ⑦ 特別な平行四辺形 ⑧ 平行線と面積 ⑨ 三角形と四角形の性質の利用	三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり, 証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 平面図形の性質を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。	・証明の必要性と意味およびその方法について理解している。	
2		6章 確率 ① 確率の求め方 ② いろいろな確率	多数回の試行によって得られる確率と関連づけて, 場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解し, 簡単な場合について確率を求めることができる。	・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて, 場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解し, 簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し, 場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現したり, 確率を使って不確定な事象を捉え考察し表現したりすることができる。	・場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたりしている。
		7章 データの分析 ① 箱ひげ図 ② 箱ひげ図の利用	四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習にいかそうとしたり, 四分位範囲や箱ひげ図を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたり, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしていたりしている。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解し, データを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を使ってデータの分布の傾向を比較して読みとり, 批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え, 学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って, 評価・改善しようとしていたり, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしていたりしている。



令和8年度 第2学年 理科年間指導計画

月	単元	章	学習内容	評価			
				知	思	主	
4月 (11)	[生命] 生物の体のつくりとはたらき (34)	生物の体のつくりとはたらき(学びのプラン配布)				○	
		1章 生物の体をつくるもの	1 生物の体の成り立ち 2 細胞のつくり 3 細胞のはたらき	○ ◎ ○	○ ○ ○		
2章 植物の体のつくりとはたらき		1 栄養分をつくる 2 植物の呼吸 3 水と栄養分を運ぶ	○ ○ ○	◎ ○ ○	○		
3章 動物の体のつくり		1 栄養分をとり入れる 2 動物の呼吸 3 不要な物質のゆぐえ 4 物質を運ぶ	○ ○ ◎ ◎	◎ ○ ○ ○			
6月 (16)		4章 動物の行動のしくみ	1 感じとるしくみ 2 刺激を伝えたり反応したりするしくみ 3 運動のしくみ	◎ ◎ ○	◎ ○ ○	○	
		力だめし(学びのプラン提出)					
補充・深化(5)							
7月 (8)		[地球] 地球の大気と 天気の変化 (26)	地球の大気と天気の変化(学びのプラン配布)				○
			1章 地球をとり巻く大気の様子	1 大気のなかではたらく力 2 大気の様子を観察する	◎ ◎	○ ○	○
2章 大気中の水の変化			1 霧のでき方 2 雲のでき方 3 空気中に含まれる水蒸気の量	◎ ◎ ◎	○ ○ ○		
3章 天気の変化と大気の動き	1 風がふくしくみ 2 大気の変化による天気の変化 3 地球規模での大気の動き		◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○		
8月 9月 (15)	4章 大気の動きと日本の四季		1 陸と海の間の大気の動き 2 日本の四季の天気 3 天気の変化がもたらす恵みと災害	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	◎	
	力だめし(学びのプラン提出)						
補充・深化(4)							
10月 (16)	[エネルギー] 電流とその利用 (33)		電流とその利用(学びのプラン配布)				○
11月 (16)		1章 電流の性質	1 電流が流れる道すじ 2 回路に流れる電流 3 回路に加わる電圧 4 電圧と電流の関係 5 電流、電圧、電気抵抗の求め方 6 電流のはたらきを表す量	◎ ○ ◎ ○ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○ ○		
		2章 電流の正体	1 静電気 2 静電気と電流の関係 3 電流の正体 4 放射線の発見とその利用	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	○	
12月 (10)		3章 電流と磁界	1 磁界 2 モーターのしくみ 3 発電機のしくみ	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○	
		力だめし(学びのプラン提出)					
補充・深化(4)							
1月 (12)		[物質] 化学変化と原子・分子 (30)	化学変化と原子・分子(学びのプラン配布)				○
2月 (15)			1章 物質の成り立ち	1 物質を加熱したときの变化 2 水溶液に電流を流したときの变化 3 物質のもとになる粒子 4 原子に結びついてできる粒子	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	
	2章 物質の表し方		1 物質を表す記号 2 物質を表す式 3 化学変化を表す式	◎ ◎ ◎	○ ○ ○		
3月 (8)	3章 さまざまな化学変化		1 物質どうしが結びつき変化 2 物質が酸素と結びつく変化 3 酸化物から酸素をとり除く変化 4 化学変化と熱の出入り	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	○	
	4章 化学変化と物質の質量		1 化学変化の前後での物質の質量 2 反応する物質どうしの質量の割合	◎ ◎	○ ○	○	
力だめし(学びのプラン提出)							
補充・深化(4)							

教科目標:

- (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4 5	「夏の思い出」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 旋律、強弱、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5	「交響曲第5番ハ短調」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	思) 音色、リズム、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	6	Let's Create!	表したいイメージと関わらせながら、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	知) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。	思) リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
後	7 8 9 10	「夢は大空を駆けろ」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	10 11	ギター	楽器の音色や響きと奏法の	知) 楽器の音色や響き	思) 音色、リズム、テクス	楽器の音色や響きと

期		関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	と奏法との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現している。	チュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
12	「アイダ」から	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、ほかの芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	知) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、ほかの芸術との関わりについて理解している。	思) 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、ほかの芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1	箏	楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	知) 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	思) 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
2 3	3年生を送る会合唱	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

教科目標：(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーション	オリエンテーションを通して美術の授業の内容や特性について知り、視点を広げる。			(態鑑) 2年生の美術における表現活動の意義や内容を知り、今後の表現活動に倒して期待と意欲をもって学ぼうとしている。
		デッサン	鉛筆の扱い方を理解し、デッサンの基礎を身に付け、明暗、質感などの特徴について理解し、描くことに対する楽しさを味わう。	(技) 材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	(発) 鉛筆を使った濃淡の方法やより効果的な扱い方や道具を工夫、光と影の関係性などについて考えるなどして心豊かに表現しようとしている	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光と影の特性などを生かして構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
		芸術家の生き方(鑑賞) パブロ・ピカソ	形や構図、色彩、作風などに着目して作品の特徴を捉え、主題をもとに、表現の意図や工夫を考え、見方や感じ方を深める。また、自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	(知) 形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、ピカソが「ゲルニカ」に託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	(鑑) 「ゲルニカ」や、その他のピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品がつくられた背景などをもとに、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		瞬間の美しさを形に～スクラッチボードの制作～	瞬時の人の動きに関心を持ち、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、形や重心の効果、動きの感じ、躍動感などを捉え、材料の特性を生かして創造的に立体で表す。	(知) 形などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、動きの感じや躍動感などを全体のイメージで捉えることを理解している。 (技) 材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	(発) 自然や動物、人の動きを深く見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、形や重心の効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の動きの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に彫刻で表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		琳派の歴史(鑑賞)	琳派のよさや特性などに関心を持ち、余白、折り、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	(知) 構図、余白、折りによる空間や奥行きの表現などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。	(鑑) 日本の文化遺産である屏風などから、よさや美しさなどを感じ取り、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に琳派の表現のよさや美しさを感じ取り、余白、折り、構図や色彩などの特徴や、技法に着目し作風や作品の印象について考えるなどして考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
後期	11 12 1 2 3	屏風～対の世界～	屏風の表現のよさや美しさ、折ることで生まれる立体感や見え方の変化を感じ取るなどして見方や感じ方を広げ、主題をもとにテーマを生み出し琳派の特徴を生かして表す。	(知) 構図、余白、折りによる空間や奥行きの表現などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 (技) 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	(鑑) 日本の文化遺産である屏風などから、よさや美しさなどを感じ取り、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 (発) 形や色彩の特徴や美しさ、テーマから主題を生み出し、構図、余白、折りの表現の効果を生かし、心豊かに表現する構想を練っている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に琳派の表現のよさや美しさを感じ取り、余白、折り、構図や色彩などの特徴や、技法に着目し作風や作品の印象について考えるなどして考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (態表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて余白、折り、構図や色彩などを工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。

令和8年 保健体育科 年間授業計画

指導目標

【体育分野】
見方・考え方を働かせ、適切な課題解決やその解決に向けて、知識や技能を習得しながら、主体的に運動に取り組む資質や能力を育てる体育学習。
【保健分野】
見方・考え方を働かせ、自他の課題を発見し、健康の保持増進に関する内容を実生活の中で生かすことができる資質や能力の育成。

①生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、スポーツとの多様な関わり方を見いだす力を養い、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を重視する。
②運動の特性に触れながら、基本的な知識及び技能の習得、課題を解決するために思考力、判断力、表現力等の育成を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
③健康・安全についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える能力を養う。

学期	前期																後期												指導者 1～3学年 渡辺 克己 油井 航 富樫 ふみ 佐川 桃子															
	4月				5月				6月				7月	8月	9月					10月		11月			12月			1月			2月			3月										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
学校行事	入学式・新歓・授業参観 仮入部・教科総会 任命式				体育祭練習開始 第79回体育祭 耳鼻科検診 教育相談				修学旅行・三者面談 新体力テスト 前期中間テスト・壮行会 前期生徒総会				前期前半終了		市総体開会式	前期期末テスト 防災スクール					前期終業式 文化祭・合唱コンクール 市駅伝大会		3年後期中間テスト 2年職場体験			1・2年後期中間テスト 小6見学会 80周年実行委員会 後期前半終了			教育相談 自然教室 3学年年末テスト			卒業と進級を祝う会 1・2学年年末テスト 後期生徒総会・三送会			修了式・離任式									
1学年	1・2組 3・4・5組		体育理論	ガイダンス 体づくり運動	B 器械運動 マット・跳び箱 (1・3、4組)		C 陸上競技 短距離走・リ レーハードル走 (1・3、4組)		D 水泳 クロール				E 球技 バレーボール (1・3、4組)					E 球技 ソフトボール (1・3、4組)		F 柔道			E 球技 バスケットボール (1・3、4組)			E 球技 サッカー(2・4、5組)			E 球技 バスケットボール (2・4、5組)			G ダンス			体づくり運動 8 体育理論 3 器械運動 9 陸上競技 9 水泳 8 球技Ⅰ 9 球技Ⅱ 9 柔道 9 球技Ⅲ 9 球技Ⅳ 9 保健 15 ダンス 8	合計 105								
保健	クラスごと 健康な生活と疾病の予防①																心身の機能の発達と心の健康																											
2学年	1・2組 3・4組		体育理論	ガイダンス 体づくり運動	B 器械運動 鉄棒・平均台 (1・3組)		C 陸上競技 走り幅跳び 走り高跳び (1・3組)		D 水泳 平泳ぎ				E 球技 バレーボール (1・3組)					E 球技 ソフトボール (1・3組)		F 柔道			E 球技 バスケットボール (1・3組)			E 球技 サッカー(1・3組)			G ダンス			体づくり運動 8 体育理論 3 器械運動 9 陸上競技 9 水泳 8 球技Ⅰ 9 球技Ⅱ 9 柔道 9 球技Ⅲ 9 球技Ⅳ 9 保健 15 ダンス 8	合計 105											
保健	クラスごと 傷害の防止																健康な生活と疾病の予防②																											
3学年	1・2組 3・4組		体育理論	ガイダンス 体づくり運動	選択Ⅰ (1種選択) B 器械運動 C 陸上競技				D 水泳 (学校選択) クロール 平泳ぎ 背泳ぎ				選択Ⅱ (E ①～④より1種目選択) E 球技 ①ソフトボール ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール					F 柔道 (学校選択)			選択Ⅲ (E ①～④より1種目選択) E 球技 ①ソフトボール ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール			G ダンス (学校選択)			体づくり運動 11 体育理論 3 選択Ⅰ 17 (器械・陸上) 水泳 7 選択Ⅱ 17 (ソフト・バレー) 柔道 8 選択Ⅲ 17 (サッカー・バスケ) ダンス 7 保健 18	合計 105																
保健	クラスごと 健康と環境																健康な生活と病気の予防③																											

令和8年度 技術・家庭科（技術分野）年間計画 第2学年

教科目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力の育成

題材	学習活動	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会を支える情報の技術 情報の表現、記録、計算、通信の原理 情報のデジタル化、セキュリティの仕組み 情報モラル 情報の表現の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組み 技術に込められた問題解決の工夫 	情報の表現などの知識を身につけ、適切な操作をしようとしている。 ・授業観察 生活や社会を支える情報の技術に打ついてまとめることができる。 ・ワークシート	情報の表現などに関心を高め、主体的に作業を進めようとしている。 ・授業観察	情報の表現などに関心を高め、主体的に作業を進めようとしている。 ・授業観察 情報の技術について、主体的に理解しようとしている。 ・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの構成、安全に情報を利用するための仕組み 	ネットワークやプログラムの仕組みを理解している。 ・ワークシート	課題に対して適切なプログラムを考え作ることができる。 ・ワークシート	ネットワークやプログラムの仕組みを理解しようとしている。 ・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを利用した双方向性コンテンツのプログラミング。情報交換のためのSNS作成。 問題の発見と課題の設定、情報処理の手順の具体化 安全・適切な制作 	知識をもとに適切なプログラミングができる。 ・作品		プログラミングを主体的に実践している。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 動作の確認、デバッグ等 コンテンツの評価・改善及び修正・活用 	アクティビティ図やプログラムの仕組みをまとめることができる。 ・ワークシート	完成したプログラムの評価や問題点を考え表現することができる。 ・ワークシート	完成したプログラムについて、確認や修正ができる。 ・ワークシート ・授業観察
エネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組み 技術に込められた問題解決の工夫 	エネルギーの変換方法や変換効率についてまとめることができる。 ・ワークシート	どのような工夫が省エネルギーに貢献できるか考え表現することができる。 ・ワークシート	エネルギーの変換方法や省エネルギーに対し主体的に調べまとめることができる。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 機器の基本的な仕組み 保守点検、事故防止 安全・適切な製作、実装、点検、調整など 	事故防止や保守点検についての技術を理解している。 ・機器の仕組みをまとめることができる。 ・ワークシート ・テスト	事故防止を心がけて作業を進めることができる。 ・授業観察	機器の仕組みを知ろうと主体的に観察している。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 使用目的や条件に適した機能と構造 問題の発見と課題の設定 電気回路の構想と設計 	電気回路を構想し、設計することができる。 ・ワークシート	使用目的に適した機能を考え判断することができる。 ・ワークシート	機器の機能や構造を理解しようとしている。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路の組立、点検 製作の過程や結果の評価改善 	コードの端末処理ができる。 回路の点検ができる。 回路の製作ができる。		作業に主体的に取り組んでいる。 ・授業観察
	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会、環境との関わり 技術の評価、選択と管理・運用・改良 	安全に作業を進めるための手順をまとめることができる。 ・ワークシート	生活や環境との関わりを考え表現することができる。 ・ワークシート	完成した作品について、適切な評価や活用ができる。 ・ワークシート
生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会を支える生物育成の技術 生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み 技術に込められた問題解決の工夫 	生物育成の原理や法則、生育環境などの知識が身につけられる。 ・ワークシート		得られた知識から栽培条件をまとめることができる。 ・ワークシート

令和8年度 技術・家庭科（技術分野）年間計画 第2学年

教科目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力の育成

題材	学習活動	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・スプラウト栽培 ・生物育成の技術による問題の解決 ・安全・適切な栽培や検査 	栽培方法を身につけることができる。 ・授業観察 ・ワークシート		基本的な栽培方法を身につけ実践できる。 ・授業観察 ・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と課題の設定 ・育成環境の調節方法の構想と育成計画, 栽培過程 ・適切な栽培と問題の解決と環境調整 	栽培方法をまとめることができる。 ・ワークシート	栽培結果を観察して、より良い栽培方法が判断できる。 ・ワークシート	育て方で栽培結果に違いが出ることを知り、よりよい栽培方法を実践できる。 ・報告書
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会とのかかわり、評価と運用管理の改良 		より良い栽培方法をまとめ、表現することができる。 ・報告書	生物育成についての評価や適切な栽培方法が理解できている。 ・報告書

教科目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前	4	ガイダンス 「家庭科を学ぶ目標」 「2年の学習内容」 「私たちの消費生活」 ・消費者としての自覚	さまざまな消費方法や支払い方法があることを理解し、それらの長所や短所がわかり、金銭管理のためにどのような消費生活を営む必要があるかを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 消費方法を理解する。 契約の意味がわかる。 購入方法と支払い方法が理解できる。 クレジットカードの仕組みが理解できる。 悪徳商法を理解できる。 消費者トラブルに巻き込まれた時の対処方法がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな消費方法の利便性と危険性について考えることができる。 さまざまな購入方法と支払い方法の利便性と危険性について考えることができる。 身近に起きている消費者トラブルについて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 金銭管理の重要性に気づき、自分の生活を振り返り、消費や支払いにおいてどのような方法をとっていか考えることができる。 次々と新たな商法が出てくることを考え、情報収集のしようとする態度を養う。
	5	<ul style="list-style-type: none"> 購入方法と支払い方法 計画的な金銭管理 消費者トラブルとその対策 				
	6					
期	7	「食事の役割と中学生の栄養の特徴」 ・食事が果たす役割 ・健康に良い食習慣 ・栄養素とは ・中学生の発達と必要な栄養 ・食品に含まれる栄養素 ・何をどの位食べればよいか。 ・バランスの良い献立作り	栄養素や生活習慣病の知識を身に付けるとともに中学生の食生活の重要性がわかり、自分の食生活をよりよいものにしていくための知識や食べ方を理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割を理解する。 食習慣と生活習慣病の関係について理解できる。 5大栄養素の種類と働きや水の役割を理解する。 中学生に必要な栄養やどのようなものをどのくらい食べるとよいかを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事と心の関係について考えることができる。 朝食の重要性について考察できる。 中学生時代の食習慣が健康な生涯を送るために重要であることが考えられる。 市販されているサプリメントや健康食品をとることのメリットやデメリットを考察できる。 自分の食習慣や嗜好を振り返って、改善すべきところを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族で食事を楽しむ工夫を考えようとする。 朝食をしっかりと食べる習慣を身につける。 自分の食習慣を振り返り、改善しようとする。 理科の内容と関連付けて栄養を捉えることができる。 食事が心身の健康に重要であることを理解し、健康な食生活のために自らできることを考察できる。
	9	「調理のための食品の選択と購入」 ・食品の選択と購入 ・生鮮食品と加工食品 ・食品の保存と食中毒の防止 「日常食の調理と地域の食文化」 ・安全な調理のために ・日常食の調理（野菜、肉、魚） ・持続可能な食生活を目指して	食生活が命や健康に直接かわる重要性に気づき、多様化する食材や食品の中から適切に選択し、調理することの重要性を理解し、必要な知識や技術を身に付ける。地域の食文化や行事食などを理解し、文化を継承する重要性に気づくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 食材の鮮度の見分け方が理解できる。 食品表示や食品のマークの意味が理解できる。 生鮮食品の旬を理解できる。 生鮮食品の表示の意味が理解できる。 加工食品の長所と短所を理解できる。 食品の保存方法と食中毒の種類と予防法が理解できる。 衛生的な手洗い方法を身につける。 衛生的な調理器具の扱い方を身につける。 調理中の危険について理解する。 食材ごとの取り扱いができる。 基本的な材料の切り方を身につけられる。 食材の特徴を理解できる。 肉や魚を適切に扱うことができる。 日本の食料自給率と食品の廃棄の実態を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 食材を購入するときに注意すべきことを考えることができる。 食材の鮮度を判断できる。 加工食品を選択する際の留意点を考えることができる。 食べる行為が場合によっては、命を脅かすこともあることを考えられる。 調理中の危険を考え、安全に調理に取り組むことができる。 食材の特徴に応じた調理方法の良さを考えることができる。 食材の下ごしらえが、料理の出来ばえに影響することを考えられる。 肉や魚を扱う上での留意点と食中毒を関連して考えることができる。 食料自給率が低い問題点を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい食生活を送るために多くの知識が必要であり、知識があることで、生活が豊かになることを考察できる。 得た知識を自分の生活に生かす態度を身に付ける。 学んだ知識を生かして、買い物かしようとする。 学んだ調理方法や技術をいかしたメニューを考察する。 家庭生活の食品ロスに目を向け、改善方法を考察できる。
後	10					
	11					
	12					
	1	「責任ある消費者になるために」 ・消費者の権利と責任 ・省エネルギーと持続可能な社会 ・持続可能な消費生活を目指して		<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利と責任について理解できる。 自分や家族の消費行動が環境に与える影響を理解できる。 循環型社会とそのための取り組みについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利と責任に該当する場面を考えられる。 エネルギー消費を減らす方法を考えられる。 循環型社会の必要性を考えられる。 循環型社会の実現に向けて、自分たちでできることを考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の消費行動を工夫しようと努力する。 エネルギー消費を減らす方法を実践しようとする。 循環型社会の実現に向けて自分たちでできることを実践しようとする。
2						
3						

令和8年度 住吉中学校 英語科年間計画 第2学年 斯波孝太

教科目標:これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

[L]=聞く、[R]=読む、[SI]=話す(やり取り)、[SP]=話す(発表)、[W]=書く

月	単元・教材名	到達目標・活動目標 (重点化領域)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	Unit 1 Hajin's Diary	[R] 日記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる [W] 出来事や感想などを日記に書くことができる	〈知識〉動詞の過去形、接続詞when、 「look[sound]+形容詞」の文の意味・ 形・使い方を理解している。 〈技能〉動詞の過去形、接続詞when、 「look[sound]+形容詞」などについての 理解をもとに、日記の内容を読み取つた り、日記を書いたりする技能を身につけ ている。	日記を書くときの参考にするために、登 場人物の日記を読んで、おおまかな内 容を捉えている。 身近な出来事や気づきを書き留めて、 情報を整理して、日記を書いている。	日記を書くときの参考にするために、登 場人物の日記を読んで、おおまかな内 容を捉えている。 身近な出来事や気づきを書き留めて、 情報を整理して、日記を書いている。
5月	Unit 2 Basketball Tournament	[L] 友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることが できる [SI] 企画への希望や意見を、その場で伝え合うことが できる	〈知識〉動名詞、不定詞の名詞的用法、 接続詞thatの意味・形・使い方を理解し ている。 〈技能〉動名詞、不定詞の名詞的用法、 接続詞thatなどを用いて、学級レクリ エーションについて、会話の内容を聞き 取ったり、希望や意見を伝え合ったりす る技能を身につけている。	学級レクリエーションの企画の参考にす るために、登場人物の話から、企画に 必要な情報を聞き取っている。 したいことや大切だと思うことが伝わる ように、企画への希望や意見をその場 で伝え合っている。	学級レクリエーションの企画の参考にす るために、登場人物の話から、企画に 必要な情報を聞き取ろうとしている。 したいことや大切だと思うことが伝わる ように、企画への希望や意見をその場 で伝え合おうとしている。
6月	Unit 3 Plans for the Summer	[R] メールの用件や、返事が必要なことを読み取ること ができる [W] 用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書く ことができる	〈知識〉be going to, 助動詞will, 接続詞if の文の意味・形・使い方を理解してい る。 〈技能〉be going to, 助動詞will, 接続詞if などについての理解をもとに、旅行の予 定などについて書かれたメールの内容を 読み取ったり、予定や希望をメールに 書いたりする技能を身につけている。	届いたメールの返事を書くために、旅行 の予定などについて書かれたメールか ら、用件や返事が必要な情報を読み 取っている。 ホームステイ先の相手に用件や気持ち が伝わるように、届いたメールの内容を ふまえて予定や希望などの伝えるべき ことを整理し、簡単な語句や文を用い てメールの返事を書いている。	届いたメールの返事を書くために、旅行 の予定などについて書かれたメールか ら、用件や返事が必要な情報を読み取 ろうとしている。 ホームステイ先の相手に用件や気持ち が伝わるように、届いたメールの内容を ふまえて予定や希望などの伝えるべき ことを整理し、簡単な語句や文を用い てメールの返事を書こうとしている。
7月	You Can Do It! 1 「わが町観光プラン」をおすすめし よう	[R] [W] 相手に合うプランを提案することができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働き を理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働き の理解をもとに、交換留学生の自己紹 介文の内容を読み取ったり、観光プラン を書いたりする技能を身につけている。	2人の交換留学生にぴったりの観光プラン を考えるために、2人の興味・関心に ついて書かれた自己紹介文から、必要 な情報を読み取っている。 2人の交換留学生に町の魅力を知って もらうために、2人の興味・関心をふま えて見どころやかかる時間等の情報を 整理して、観光プランを書いている。	2人の交換留学生にぴったりの観光プラン を考えるために、2人の興味・関心に ついて書かれた自己紹介文から、必要 な情報を読み取ろうとしている。 2人の交換留学生に町の魅力を知って もらうために、2人の興味・関心をふま えて見どころやかかる時間等の情報を 整理して、観光プランを書こうとしている。
9月	Unit 4 Tour in Singapore	[R] グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ること ができる [SP] 町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明するこ とができる	〈知識〉There is ~, 「S+V+O+O」、不定 詞の形容詞的用法の文の意味・形・使 い方を理解している。 〈技能〉There is ~, 「S+V+O+O」、不定 詞の形容詞的用法などについての理解 をもとに、シンガポール・グルメの紹介 サイトの内容を読み取ったり、町の名物 について説明したりする技能を身につ けている。	TinaとDavidの希望に合う昼食をとる場 所を探すために、シンガポール・グル メの紹介記事から、必要な情報を読 み取っている。 町の名物の魅力が他の国や地域の人 に伝わるように、伝えたい情報を整理 して、自分が紹介したい名物について 詳しく説明している。	TinaとDavidの希望に合う昼食をとる場 所を探すために、シンガポール・グル メの紹介記事から、必要な情報を読 み取ろうとしている。 町の名物の魅力が他の国や地域の人 に伝わるように、伝えたい情報を整理 して、自分が紹介したい名物について 詳しく説明しようとしている。
10月	Unit 5 How Do We Stay Safe?	[L] 災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き 取ることができる [SI] 必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合 うことができる	〈知識〉助動詞must, 「have to+動詞の 原形」、不定詞に代わるItの文の意味・ 形・使い方を理解している。 〈技能〉助動詞must, 「have to+動詞の 原形」、不定詞に代わるItなどについて の理解をもとに、災害時に必要なもの について、説明の内容を読み取ったり、意 見を伝えたりする技能を身につけてい る。	「中学生用 防災バッグ」に入れるものを 話し合うときの参考にするために、災害 時に役立つものについての説明から、 必要な情報を読み取っている。 「中学生用 防災バッグ」の見本を作るた めに、必要なものとその理由など伝え たい情報を整理して、バッグに入れるべ きだと思うものについての意見を伝え合 っている。	「中学生用 防災バッグ」に入れるものを 話し合うときの参考にするために、災害 時に役立つものについての説明から、 必要な情報を読み取ろうとしている。 「中学生用 防災バッグ」の見本を作るた めに、必要なものとその理由など伝え たい情報を整理して、バッグに入れるべ きだと思うものについての意見を伝え合 おうとしている。
11月	Unit 6 Guide Dogs	[R] 紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉えることが できる [W] わかりやすい文章構成で、紹介記事を書くことが できる	〈知識〉目的を表す不定詞(副詞的用法)、 接続詞because, 原因を表す不定 詞(副詞的用法)の文の意味・形・使 い方を理解している。 〈技能〉目的を表す不定詞(副詞的用法)、 接続詞because, 原因を表す不定 詞(副詞的用法)などについての理解を もとに、ボランティア活動について、紹 介記事の内容を読み取ったり、紹介記 事を書いたりする技能を身につけてい る。	ボランティア活動についての紹介記事 を書くときの参考にするために、Kotaが 書いた記事を読んで、おおまかな内容 を捉えている。 学校新聞を読んだ人に「活動に参加し たい」と思ってもらえるように、伝えたい 情報を整理して、紹介したいボラン ティア活動についての記事を書いている。	ボランティア活動についての紹介記事 を書くときの参考にするために、Kotaが 書いた記事を読んで、おおまかな内容 を捉えようとしている。 学校新聞を読んだ人に「活動に参加し たい」と思ってもらえるように、伝えたい 情報を整理して、紹介したいボラン ティア活動についての記事を書こうとし ている。
12月	You Can Do It! 2 誰もが楽しめるイベントを提案しよ う	[L] [SP] 自分の意見や考えを伝えることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働き を理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働き の理解をもとに、町のイベントについ ての会話の内容を聞き取ったり、提案内 容を発表したりする技能を身につけて いる。	「誰一人取り残さないイベント」を提案す るために、町の人へのインタビューか ら、必要な情報を聞き取っている。 イベントの実行委員としての役割を果た すために、自分の意見や考えを整理し て、「誰一人取り残さないイベント」を 実現する提案をしている。	「誰一人取り残さないイベント」を提案す るために、町の人へのインタビューか ら、必要な情報を聞き取ろうとして いる。 イベントの実行委員としての役割を果た すために、自分の意見や考えを整理し て、「誰一人取り残さないイベント」を 実現しようとしている。
1月	Unit 7 Working Together	[L] ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉え ることができる [SI] 複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を 伝え合うことができる	〈知識〉-er, -estを使う比較級や最上 級、more, mostを使う比較級や最上級、 as ~ as ... の文の意味・形・使 い方を理解している。 〈技能〉-er, -estを使う比較級や最上 級、more, mostを使う比較級や最上級、 as ~ as ... などについての理解をも とに、ポスター案についての説明の内 容を聞き取ったり、ポスター案につい ての意見を伝え合ったりする技能を身 につけている。	採用するポスター案を決めるために、そ れぞれの案の工夫した点などについて の説明を聞いて、おおまかな内容を捉 えている。 採用するポスター案を決めるために、複 数のポスター案を比べて、自分の意見 とその理由を伝え合っている。	採用するポスター案を決めるために、そ れぞれの案の工夫した点などについて の説明を聞いて、おおまかな内容を捉 えようとしている。 採用するポスター案を決めるために、複 数のポスター案を比べて、自分の意見 とその理由を伝え合おうとしている。
2月	Unit 8 Performing a Play	[R] 手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることが できる [W] 意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くこ とができる	〈知識〉「want+人+不定詞」、「make+ 人+もの+形容詞」、受け身の文の意 味・形・使い方を理解している。 〈技能〉「want+人+不定詞」、「make+ 人+もの+形容詞」、受け身の文など についての理解をもとに、気持ちを伝 える手紙の内容を読み取ったり、自分の 気持ちを伝える手紙を書いたりする技 能を身につけている。	Eriの気持ちを知るために、手紙を読ん で、Eriの意図や気持ちを読み取って いる。 Eriに意図や気持ちを伝えるために、 Hajinになったつもりで伝えたいこと を整理して、手紙の返事を書いている。	Eriの気持ちを知るために、手紙を読ん で、Eriの意図や気持ちを読み取ろう としている。 Eriに意図や気持ちを伝えるために、 Hajinになったつもりで伝えたいこと を整理して、手紙の返事を書こうとし ている。
3月	You Can Do It! 3 かるたで地域のPRをしよう	[L] [SI] 説明や描写をすることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働き を理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働き の理解をもとに、郷土かるたの札の内 容を聞き取ったり、地域の魅力が伝 わると思う名所や名産品について意見 を伝え合ったりする技能を身につけて いる。	かるたの内容を考えるときの参考にす るため、各地域の郷土かるたの札の説 明を聞き、おおまかな内容を捉えて いる。 地域のPRをするために、かるたにし て紹介したいものについて、意見やそ の理由などを整理して伝え合っている。	かるたの内容を考えるときの参考にす るため、各地域のかるたの札の説明を 聞き、おおまかな内容を捉えようとし ている。 地域のPRをするために、かるたにし て紹介したいものについて、意見やそ の理由などを整理して伝え合おうとし ている。
	Let's Read More 1 Plastic Food Samples	[R] 記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働き を理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働き の理解をもとに、食品サンプルについ ての記事の内容を読み取る技能を身につ けている。	食品サンプルがどこで生まれ、どのよ うに作られているかなどを知るため に、記事を読み、おおまかな内容を 捉えている。	食品サンプルがどこで生まれ、どのよ うに作られているかなどを知るため に、記事を読み、おおまかな内容を 捉えようとしている。
	Let's Read More 2 Ainu, My Voice	[R] 映像作品を紹介したブログを読んで、おおまかな内 容を捉えることができる	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働き を理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働き の理解をもとに、映像作品を紹介した ブログの内容を読み取る技能を身につ けている。	Tinaが紹介している作品の内容を知る ために、ブログを読み、おおまかな内 容を捉えている。	Tinaが紹介している作品の内容を知る ために、ブログを読み、おおまかな内 容を捉えようとしている。

特別の教科「道徳」 2学年 年間指導計画

月	番号	教材名	学習指導要領との関連	ねらい
4	1	道徳の学習を始めよう 泣いた赤鬼	B(8)友情、信頼	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたい、深めたいという意欲と実践意欲と態度を育てる。
	2	カラカラ	A(1)自主、自律、自由と責任	電車の中で転がる空き缶を拾うか迷う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、誠実に実行しようとする判断力を育てる。
5	3	アイヌの歌をうたいたい	A(4)希望と勇気、克己と強い意志	本物のアイヌ民謡を歌えるようになりたいという目標を実現したアイヌ民謡歌手の川上さんの姿から、何かをやり遂げようとするとき、その根底にあるのはどんな思いを考えさせ、より高い目標をもち、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする心情を育てる。
	4	ジコチュウ	B(9)相互理解、寛容	クラスメートの言動を自己中心の決めつけていた生徒の物語を通して、考え方や立場の違いを理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考えさせ、互いの考えを伝え合い、それぞれの立場を思いやって尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。
	5	命が生まれるそのときに	D(19)生命の尊	詩「いのちの音」と、出産を撮影するフォトグラファーの繁延さんの文章や写真を通して、「生きている」ことの尊さについて考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。
6	6	気づかなかったこと	B(6)思いやり、感謝	人々の嫌な面ばかりを見ていた生徒が、周りにあふれる思いやりや感謝の気持ちを描いた漫画を通して、日々の生活で人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもとうとする心情を育てる。
	7	嫌われるのを恐れる気持ち	A(3)向上心、個性の伸長	本性を表に出せないことに悩む生徒の相談を通して、自分らしく生きるとはどういうことかを考えさせ、自己を見つめ、弱さも自分の特徴であることを肯定的に受け止め、かけがえのない自己を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
	8	明日、みんなであらう	C(11)公正、公平、社会正義	「ピンクシャツデー」というじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話をを通して、誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切かについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。
	9	「いじり」って	B(8)友情、信頼	「いじり」について話し合うことを通じて、友情を育むために大切なことは何かを考えさせ、相手の個性を認め、相手に対する敬愛を基に、よりよい関係を築こうとする判断力を育てる。
7	10	テニス部の危機	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	テニス部の活動方針を巡って対立した生徒の話を通して、集団の一員として、よりよくするために大切なことは何かを考えさせ、集団として活動する意義と、よりよい集団であるためにどうすればよいかを考える判断力を育てる。
	11	松葉づえ	B(8)友情、信頼	松葉づえを突いて生活する転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「友情」とはどういうものか考えさせ、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。
9	12	人って、本当は？	D(22)よりよく生きる喜び	孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して、人のもつ強さや弱さを見つめながら、よりよく生きるために大切にしたいことを考えさせ、自分の生き方をよりよいものにしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	13	礼儀は何のため	B(7)礼儀	登場人物が二つの場面で考えたことを通じて、礼儀にはどんな心が表れるのかを考えさせ、礼儀の意義を考えた言動をしようとする判断力を育てる。
	14	段ボールベッドへの思い	C(13)勤労	避難者の健康を考えた段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公開した会社の人の話を通して、働くことのさまざまな意義について考えさせ、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。
10	15	我が町の消防団	C(12)社会参画、公共の精神	消防団に参加する巻出さんの姿を通して、社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのかについて考えさせ、自分が暮らす地域や社会の中で、協力し合って生きていこうとする心情を育てる。
	16	僕の職場は富士山です	D(20)自然愛護	富士山のガイドをする近藤光一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して、自然を守るとはどういうことかについて考えさせ、自然の崇高さを感じ、自然環境を大切にすることの意義を理解しようとする心情を育てる。
	17	夢中になるのは悪いこと？	A(2)節度、節制	ネット依存に関する解説やオンラインゲームに夢中になる生徒の物語を通して、インターネットとうまく付き合っていくための習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	18	見えない誰かと	B(9)相互理解、寛容	同じサッカーチームを応援する立場ながら、インターネット上で非難し合うAさんとBさんの事例を通して、人とのコミュニケーションの取り方について考えさせ、相手の立場や考えを理解し、適切に考えを伝えようとする実践意欲と態度を育てる。
11	19	つながる命	D(19)生命の尊	脳死となった女児の両親が、女児の臓器提供を決定したことを取り上げた新聞記事を通して、「命」について考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。
	20	木桶仕込みのしょうゆを伝える	C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	昔ながらの方法でしょうゆ作りや木桶作りに取り組み続ける山本さんの考えを通して、伝統的な文化を受け継いでいくために大切なことはどんなことか考えさせ、我が国の伝統と文化を継承し発展させていこうとする心情を育てる。
	21	民主主義と多数決の近くて遠い関係	C(10)憲法精神、公徳心	民主主義における多数決の考え方について知り、集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは何かを考えさせ、自他の権利を大切にしたい法やきまりの在り方を理解し、それらを進んで守ろうとする判断力を育てる。
12	23	私の町	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の祭りや町並みなどに対する生徒の思いを通して、ふるさとを思う心について考えさせ、郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする心情を育てる。
	24	北川さんの悩み	B(9)相互理解、寛容	地域清掃への取り組みについて異なる考え方の二人が問題解決した話を通して、立場の異なる人と関わるときに大切なことは何かについて考えさせ、互いの考えを真摯に伝え合い、相互理解に努める判断力を育てる。
	25	境界線を溶かすチョコレート	C(18)国際理解、国際貢献	ガーナでチョコレート作りを産業にしたいと奮闘する田口愛さんの姿を通して、他国の人々と共に生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国を尊重し、国際的視野に立つて世界の発展に寄与しようとする心情を育てる。
1	27	「尊重」の本質を探ろう	C(11)公正、公平、社会正義	教科書に示された九つの問いをヒントに、「尊重」の本質について他者と語り合うことを通じて、社会の中で他者よりよく関わっていくことについて考えさせ、一人一人が尊重される社会をつくるための判断力を育てる。
	28	優しさの光線	A(3)向上心、個性の伸長	将来の夢が見えず、自信を失っている翔の心を描いた物語を通して、自分のよさを見つめさせ、向上心をもち、個性を伸ばしていこうとする心情を育てる。
	29	スカイツリーにかけた夢	A(5)真理の探究、創造	東京スカイツリーの設計士の吉野さんの、物事を追求する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことは何かについて考えさせ、真理を探究し、新しいものを生み出そうとする心情を育てる。
2	30	遠く離れた人に会いたい	D(22)よりよく生きる喜び	分身ロボット「OniHime」を開発した吉藤健太郎さんについて書かれた文章から、自分の弱さや向き合い生きていくことについて考えさせ、弱さを乗り越え、よりよく生きていこうとする心情を育てる。
	31	宇宙の始まりに思いを寄せて	D(21)感動、畏敬の念	天文学者の大内正己さんが、新しい天体を発見したときの思いや、宇宙との出会いについて述べた文章を通して、「感動する心」を見つめさせ、人間の力を超えるものに対する感動や畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。
3	32	異なり記念日	C(14)家族愛、家庭生活の充実	「異なり記念日」に込めた齋藤陽道さんの家族に対する思いを通して、家族のつながりとはどんなものかについて考えさせ、家族の在り方を見つめ、よりよい家族関係を築いていこうとする心情を育てる。
	35	一年間の学びを振り返ろう		これまで記入した「まなびの記録」や花火師の松井の子さんのルールから、1年間の道徳科で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
4	33	二番目の悪者	A(1)自主、自律、自由と責任	金のライオンが意図的に仕組んだうそを、ただ受け入れ広めてしまった動物たちの物語を通して、何かを判断するときにはどんなことを大切にすればよいかについて考えさせ、自分の行動を自分の意志で考え、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。
	34	泣きすぎてはいけな	D(19)生命の尊	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、自分の命の大切さを自覚し、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。